



日本子ども虐待防止学会 第16回学術集会くまもと大会

学術集会長あいさつ

山崎 史郎 (熊本学園大学 教授)



毎年、尊い子ども達の命が、本来保護すべき大人の手によって奪われています。怪我をさせられたり、十分な食事を与えられなかったり、心ない言葉を投げつけられたりと、重大な子どもの人権侵害が絶えません。社会から子ども虐待を無くし、子ども達が真に豊かな環境の中で育っていけるようにと願わずにはおれません。

日本子ども虐待防止学会第16回学術集会くまもと大会は、「未来へ歩む子ども達を守ろう」をスローガンに、熊本から子ども虐待防止の最新・最前線の情報を発信するとともに、全国の取り組み、研究成果を地域の財産として受け継いでいくことを目指します。また、参加者の皆様に情報交換・交流の機会を提供し、子どもの虐待防止意識を互いに高め合うことを目指します。すなわち、「くまもとから投げかけ、くまもとで受け継ぎ、くまもとから拡げる」を合い言葉に、重点テーマに関する特別講演、シンポジウムほか、ミート・ザ・エキスパートセッションなど、多彩なプログラムを用意しています。また、“Compact & Hospitality (おもてなし)”のコンセプトで、多忙な学会会期の合間にもくつろぎの時間を過ごしていただけるよう、緑ゆたかな会場に喫茶コーナーや語らいの場を設けます。

皆様にはぜひ本学術集会にご参集いただき、子どもの虐待防止のために共に考え、語り合ってくださいませよう。この学術集会が全国の子どもたちの幸せにつながっていく一つの契機となることを願ってやみません。

実行委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

くまもと大会の重点テーマ

こうのとりのゆりかご (赤ちゃんポスト)を巡る諸問題

設置から4年目を迎える「こうのとりのゆりかご」の実際を特別講演、シンポジウムセッションで高校生の提言も交えて検証し、これまでの取り組みや将来のあり方を考察します。

児童相談所の近未来像と機能高度化を考える

2010年4月、熊本市が新たに開設する児童相談所の記念特集プログラムです。児童相談所の最前線で活躍の現場、支える研究者が将来をテーマに集い語ります。

大会会報第1報 (3月末発表) (分科会登録・一般演題登録・パネル展示会エントリー申込要項)

大会会報第2報 (7月末発表) (事前参加登録申込要項)

※大会会報第1報・第2報は大会ホームページにてご案内致します。

大会会報はプリントアウト出来ます!

<http://jaspcan.umin.jp/>

●大会会報第2報(事前参加登録申込要項)の送付ご希望の方へ

インターネット環境がない方はファックスで氏名・住所をご連絡下さい。

印刷した会報第2報を送付致します。FAX 03-6893-6053

※個人データは本大会及び23年度茨城大会の案内のみに使用致します。



JaSPCAN in Kumamoto 2010